

本書について

このたびは本製品をご購入いただき誠にありがとうございます。
本書は IT4206GHD051C-USB-S をコンピュータに接続し、バーコードを読み取り、入力できるようにセットアップする方法をご説明しています。

付属品の確認

次のものが付属しているかをご確認ください。

	品物
1	IT4206GHD051C(スキャナ本体)
2	専用 USB ケーブル
3	CD-ROM(ドライバファイル「USB+Serial+Emulation+Driver++Rev.+X.XX.XX」、ユーザーズガイド収録) 「XX…」は改訂番号です。出荷時期によって異なる場合があります。 最新版は下記のサイトからダウンロードしていただけます。 <ドライバ配布 URL> [Honeywell 社 バーコードリーダー3800g のサイト。共用のドライバです。] http://www.honeywellaidc.com/Site.aspx/ap/en/product_center/product_support/?category=38&product=136 <ドライバファイル名> USB Serial Emulation Driver.zip (2009/12 現在) <対応 OS> Windows XP , Windows 2000
4	CD-ROM(「COM-de-KEY スタンダード版」収録)
5	A4 用紙 「COM-de-KEY はじめに【スタンダード版】」
6	A4 用紙 「IT4206GHD051C-USB-S セットアップガイド」(本書)
7	取扱説明書(マルチリンガル) 基本的な設定を記載しています。詳しい設定は当社ウェブサイトからダウンロードしてご覧ください。

セットアップの手順

- 1. スキャナと専用 USB ケーブルを接続します。**
ケーブルのモジュラコネクタの方向を確認し、正しい方向で差し込んで接続してください。
- 2. コンピュータに各ソフトウェアをインストールします。**
各ソフトウェアは USB COM ポートエミュレーションで使用するためのものです。
スキャナが USB COM ポートエミュレーションの設定の時にのみ、ソフトウェアが必要です。
 - CD-ROM からドライバファイル「USB+Serial+Emulation+Driver++Rev.+X.XX.XX」をフォルダごとコピーし、コンピュータの任意の場所に保存してください。
 - CD-ROM から「COM-de-KEY スタンダード版」をコンピュータにインストールします。
画面に従ってインストールしてください。
詳しくは A4 用紙「COM-de-KEY はじめに【スタンダード版】」をご覧ください。
- 3. スキャナの専用 USB ケーブルをコンピュータの USB ポートに接続します。**
詳しくは後述の「[USB インターフェースの設定](#)」をお読み下さい。
- 4. 各ソフトウェアとスキャナに必要な設定を実行します。**
- 5. バーコードの読み取りを開始します。**
実際に運用を始める前に、(Windows の[メモ帳]など)で入力を確認することをお勧めいたします。

設定について

1. スキャナ本体の設定は取扱説明書記載の設定用バーコードを読み取って変更します。詳しい内容については当社ウェブサイトからダウンロードしてご使用いただけます。

http://www.a-poc.co.jp/products/p_2d/4206g.html#dl

2. 「COM-de-KEY」では、スキャナ本体で設定を変更せずに、「COM-de-KEY」のパラメータ設定で「プリフィックス」「サフィックス」(ENTER など)を設定することができます。詳しくは「COM-de-KEY」のヘルプをご覧ください。

USB インターフェースの設定

USB ケーブルでの接続は、次の 2 種類の通信モードからいずれか 1 つを選択します。

通信方法は設定用バーコードを読み取って、切り替えることができます。

設定 1. USB キーボードエミュレーション (USB キーボードインターフェース)

【概要】

スキャナは USB HID(ヒューマンインターフェースデバイス)として Windows に認識されます。

スキャンしたバーコードデータは、キーボードデータとして入力されます。

WindowsXP/2000 などでは USB コネクタを PC に接続すると自動的にドライバをインストールします。

出荷時は「USB Keyboard (PC) (Default)」に設定済みです。PC に接続してすぐにお試しいただけます。

【接続の方法】

USB コネクタを PC の USB ポートに接続します。

WindowsXP/2000/Me/98SE に接続すると、Windows がスキャナを USB キーボードとして認識し、自動的に Windows から USB キーボードドライバをインストールします。

スキャナで次の設定用バーコードのうち、どちらか 1 つをスキャンします。

Memo:

日本語 Windows に接続する場合は、USB Japanese Keyboard (PC) をスキャンしてください。



USB Keyboard (PC) (Default) USA のキーボード



USB Japanese Keyboard(PC) 日本のキーボード

【接続が完了した後は】

Windows のメモ帳などを起動し、読み取りとデータ出力をご確認下さい。

設定 2. USB COM ポートエミュレーション (USB COM Port Emulation)

【概要】

USB で接続しながら、RS-232C 通信を仮想実行(エミュレーション)する通信方法です。

スキャンしたバーコードデータは仮想 COM ポートに出力されます。

QRコードに含まれる日本語を出力するにはUSB COMポートエミュレーションに設定してください。

Memo:

ドライバファイル「USB+Serial+Emulation+Driver++Rev.+X.XX.XX」(CD-ROM) が必要です。また、「COM-de-KEY スタンダード版」(CD-ROM)をPCにインストールします。

【接続の方法】

(1) ドライバファイルのフォルダ“USB+Serial+Emulation+Driver++Rev.+X.XX.XX”をフォルダごとコンピュータの任意の場所にコピーしてください。

例: Windows XP の場合

C:\Documents and Settings*(コンピュータの名前)\USB+Serial+Emulation+Driver++Rev.+X.XX.XX

(2) USB コネクタを PC の USB ポートに接続します。

(3) 設定用バーコード USB COM Port Emulation をスキャンします。

USB Com Port Emulation(USB Com ポートエミュレーション)



(4) Windows が新しいデバイスの追加ウィザードを起動します。ウィザードに従いコンピュータを操作してください。

デバイスドライバの場所を求めるメッセージが表示されたら(1)でコピーしたフォルダ“USB+Serial+Emulation+Driver++Rev.+X.XX.XX”内の“hhpdc.inf”指定し、ウィザードを進めてください。

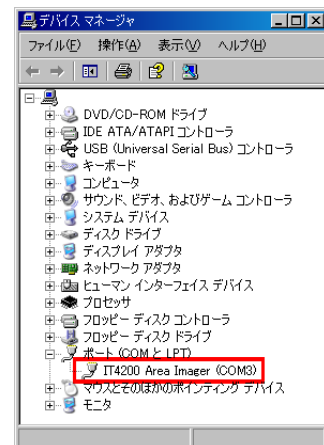
例: C:\Documents and Settings*(コンピュータの名前)\USB+Serial+Emulation+Driver++Rev.+X.XX.XX\hhpdc.inf

(5) ドライバのインストールが完了したら、デバイスマネージャを開き、通信ポート(COM)の番号を確認してください。

Memo:

デバイスマネージャの開き方は次の通りです。

[スタート]-([設定])[コントロールパネル]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]



(6) [COM-de-KEY スタンダード版](CD-ROM)をコンピュータにインストールします。

[COM-de-KEY スタンダード版](CD-ROM)のインストールと操作については

A4 用紙「COM-de-KEY はじめに【スタンダード版】」およびヘルプをお読み下さい。

(7) [COM-de-KEY スタンダード版]の[設定]画面起動します。

[COM-de-KEY スタンダード版]の起動方法

タスクバー左下[スタート]-[COM-de-KEY]をクリック⇒タスクバー右下のアイコンをダブルクリック
⇒[設定]をクリック⇒設定画面から[設定]-[通信設定]をクリック

通信設定の[COM ポート]番号を、デバイスマネージャで確認したスキャナの COM の番号と同じに変更します。

スキャナ以外に COM ポートと接続する機器が無い場合は[COM-de-KEY スタンダード版]の自動接続設定により、スキャナが接続されている COM の番号が起動時に選択されています。

例では COM3 にスキャナが接続されているので受信ソフトのポートを「COM3」に設定します。

(8) 初めてセットアップを行った直後は、一度[COM-de-KEY スタンダード版]を[切断]してから再び[接続]してください。各種セットアップ完了直後は、接続を再実行しないとデバイスが認識されない場合があります。

以上でセットアップは完了です。

【動作の確認】

確認のための操作

1. タスクバーの[COM-de-KEY]アイコンをダブルクリック⇒[モニタ表示]を起動します。
2. スキャナでバーコードを読み取ります。
3. モニタ画面にデータが出力されます。
4. 確認したら、[モニタ表示]-[閉じる]をクリックします。

実際の読み取り操作

1. タスクバーに[COM-de-KEY]のアイコンが表示され、**通信中**であることを確認します(アイコンが黄色の状態)。
切断中(アイコンが青の状態)の場合はアイコンをダブルクリック⇒[接続]をクリックします。
2. Windows のメモ帳や Excel などを開き、スキャナでバーコードを読み取ります。
3. メモ帳や Excel にデータが入力されます。

【便利な機能】

タスクバー右下[COM-de-KEY] のアイコンをダブルクリック⇒[スタートアップにショートカット作成]をクリックするとスタートアップに登録され、Windows の起動時に自動的に[COM-de-KEY]が起動し、スキャナと接続します。

よく使う設定メニュー

インターフェースの設定

*USB キーボード (英語キーボード配列)



USB キーボード (日本語キーボード配列)



USB Com Port Emulation (USB Comポートエミュレーション)



PS/2 キーボード (日本語キーボード配列)



サフィックスの設定

CR (ENTER) を付加する



バーコードデータの後に付加するキーの設定

TAB を付加する



CR/LF を付加する



*サフィックスをクリア (消去) する



トリガーの設定

*マニュアルトリガーモード



(トリガーを押して読み取り)

プレゼンテーションモード



(スタンドに置いて自動読み取り)

初期設定のリセット

スキャナが工場出荷時の設定 (*記号のパラメータ) に戻ります



テスト用バーコード

JAN-13



QR コード

データ: 12345ABCDE



QR コード

データ: IT4206GHD051C は、バーコードと2次元バーコードの読み取りが可能です。



QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

IT(IMAGETEAM)は HandHeldProducts Incorporated の商標です